

## 平成28年度の業務実績の概要について (公立大学法人青森県立保健大学)

平成28年度においては、「年度計画を上回って実施している」S評価又は「年度計画を十分に実施している」A評価が109項目(97.3%)であり、全体的な状況としては順調に計画を実施することができたと自己評価している。

大項目	小項目の 自己評価結果		「S」と判断した業務実績の内容
1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(教育)	S	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院において、平成29年度の新コース・カリキュラム開始に向けて教育体制を充実させるとともに、積極的なPRを行った結果、定員の不充足が続いていた博士前期課程において、大幅な受験者増となった。</li> <li>・看護学科において、丁寧で構造化されたディプロマ・ポリシー(以下DP)・カリキュラム・ポリシー(以下CP)の策定により、教員全体の理解が深まり、看護職育成に向けた円滑なカリキュラム改訂に結びついた。</li> <li>・理学療法学科において、平素の専門教育の内容を充実させることで、国家試験合格率100%につながる専門知識の教授を行った。</li> <li>・社会福祉学科において、専門教育に関わる種々の取組により、学生の専門職を目指すモチベーションを高める教育が行われた結果、受験者数も多く保ちながら、極めて高い国家試験合格率を維持できた。</li> <li>・社会福祉学科において、分野別質保証の参照基準等を確認しながら、新カリキュラムの妥当性を担保する等、丁寧な検証のもと円滑なカリキュラム改訂に結びつけた。</li> <li>・栄養学科において、管理栄養士養成課程のモデルコアカリキュラムと現行カリキュラムを照合しながら、栄養管理プロセス等を考慮した新カリキュラムの編成を行い、円滑なカリキュラム改訂に結びつけた。</li> <li>・学部において、DP・CPの策定を丁寧に行うことにより、学科の特性を活かした整合性の高いものを策定でき、また教員全体にも教育上のポリシーが浸透しFDの役割も果たせたことなど、円滑に新カリキュラムの構築を進めた。</li> </ul>
	A	51	
	B	1	
	計	59	

大項目	小項目の 自己評価結果		「S」と判断した業務実績の内容
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(研究)	S	0	
	A	8	
	B	0	
	計	8	
3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(地域貢献)	S	0	
	A	10	
	B	1	
	計	11	
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	10	
	B	0	
	計	10	
5 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	S	1	・計画に基づき、情報提供等の取組を綿密に行った結果、目標値を大きく上回った外部資金の獲得を達成した。
	A	9	
	B	1	
	計	11	
6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	6	
	B	0	
	計	6	
7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	S	0	
	A	7	
	B	0	
	計	7	